

第14号

群大病院 地域連携だより

病院の理念

患者さん中心の医療を推進する

基本方針

- 一. 先進医療の開発と実践
- 一. 次代を担う医療人の育成
- 一. 地域医療への貢献

副センター長 新任のご挨拶

患者支援センター 副センター長 大山 良雄



本年4月1日付けで、佐藤真人先生の後任として、患者支援センターの副センター長を拝命いたしました大山良雄と申します。

簡単に自己紹介させていただきます。昭和63年に群馬大学医学部を卒業し、同年6月群馬大学第二内科(現・臓器病態内科学)に入局いたしました。群大病院、及び群馬県内の関連病院に勤務後、平成17年4月より、群大病院総合診療部(現・救命総合医療センター総合診療部門)に異動いたしました。また、平成16年から平成22年にかけて、群大病院臨床研修センターの副センター長を兼任させていただきました。医師臨床研修制度が新制度へ移行した時期で、さまざまな

問題が噴出し右往左往しましたが大変勉強になりました。

さて、この度、酒巻哲夫センター長のもとで、患者支援センターの副センター長を務めさせていただくことになりました。実を言いますと、まだ、患者支援センターの仕事を十分に把握していません。正直に申しますと私の想像以上に、患者支援センターの仕事は広範囲に及んでいて驚いている状況です。しかし、ご安心ください。当センターには、優れたチームワークと軽快なフットワークを有するスタッフ(看護師、ソーシャルワーカー、事務の方々)がいますので、皆様のご要望には可能な限り対応できると思います。不慣れな私も、スタッフの足を引っ張らないように気をつけながら、皆様のニーズに対応させていただきます。

ところで、多くの患者さんや地域の医療機関の方々にとって、群大病院はどのように感じられるのでしょうか。一言でいえば、わかりにくい病院ではないでしょうか。いつも工事をしていて、どこに何があるかわからないことはもちろんですが、初診を受け付ける曜日が診療科によって異なるなど診療体制にも、わかりにくい点が多々あります。大学病院には多様な役割が求められていますので、やむを得ない部分もありますが、なるべく、わかりやすい病院を目指すべきであると思います。患者支援センターには、患者さんや地域の医療機関の方々などの病院を利用する側の立場に立って、病院全体の改革・改善に貢献するという重要な役割があると思いますので、本年度も引き続き、当院の患者支援センターに対しまして、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

群馬大学医学部附属病院
患者支援センター(連携担当)

〒371-8511 前橋市昭和町三丁目 39 番 15 号

電話 027-220-7733

FAX 027-220-7777

患者支援センターホームページ

<http://kanjasien.dept.showa.gunma-u.ac.jp/>

新任のご挨拶

患者支援センター 森田 元穂



本年 4 月より、患者支援センターに配属となりました、森田元穂と申します。

私は、配属前まで県内の一般病院に勤務し、主に入院患者さんの診療を担当していました。医師になり初めて入院患者さんの担当をしていたのですが、高齢者の方が主であったため、退院後の生活について、家族構成や経済状況、ADLなどを考慮して、診療に当たるということを知りました。それまでは治療をすることだけが重要と思っていたのですが、特に高齢者の場合は介護保険申請や家の改築、身体機能に合わせた施設選択など様々な点から支援することが、その後の QOL や身体機能の維持には必要であることを学び、患者支援センターの存在が大変重要であると改めて認識しました。

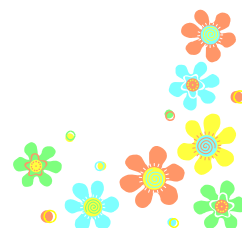
患者支援センターは“相談機能”と“連携機能”という役割を担っています。昨今、少子高齢化、独居老人、老老介護など患者環境は厳しさを増しています。そこで、患者支援センターの看護師、MSW がそれぞれのプロフェッショナルな視点でサポートしていきます。退院相談だけでなく、疾患に対する不安として、がん相談、セカンドオピニオンにも対応しております。また、国の医療政策においては医療機関の機能分担と在宅復帰促進が一層顕著になっており、地域医療連携が重要視されています。群馬大学医学部附属病院は、紹介患者さまの割合が高く、特に地域の医療施設との連携が重要であり、交流会やセミナーの開催、地域医療連携パス等の整備など、一層連携を高める必要があります。

今まで勤務していた病院とは異なる立場ではありますが、これまでの経験を生かし、地域の方々、安心して医療サービスを受けていただけるように努めていきたいと思っております。至らぬ点が多々あるとは思いますが、皆様の更なるご指導、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

第三回群馬大学医学部附属病院地域連携施設 交流会のお知らせ

地域に根ざした病院として地域の医療機関との前方・後方連携をさらに深め、医療機関の機能分化推進を目指すため、平成 24 年度においても下記の通り実施いたします。地域医療連携登録施設の皆様には別途、案内通知を送付いたします。

- ・ 日時：平成 24 年 7 月 19 日（木） I 部 18 時 00 分～19 時 10 分
II 部 19 時 20 分～20 時 40 分
- ・ 場所：前橋市商工会議所（2 階 ローズの間及びサクラの間）
- ・ 内容：群馬大学医学部附属病院からの活動報告、意見交換他



入退院センターが開設されました

病院西側の旧売店跡地を改装して、従来の外来棟 1 階②番入院窓口を拡充した形で「入退院センター」として開設し、4 月 16 日（月）に開所式が行われました。

今回新たな試みとして、患者さんが入院する前に面談を行い、入院中や退院後に発生すると思われる課題を把握して様々な不安を抱えて入院される患者さんを支援し、安心かつ安全な医療環境を提供するという機能を入退院センターに持たせており、現在は婦人科及び血液内科、腎臓・リウマチ内科の入院予定患者さんに対してその支援を行っています。

今後暫時的に入退院センターで支援する診療科を増やしていく予定です。診療科毎に異なる業務を整理し、入退院センター業務という一連のものに再構築するために、随時業務改善を行いながら取り組んで参りたいと考えております。

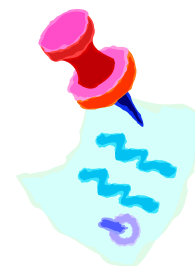


整形外科初診受付体制の変更について

当院整形外科においては、4 月から初診の際には診療情報提供書（紹介状）の持参が必須となりましたので、貴院の関連診療科におかれましては、恐縮ですがご了承いただきたくお願い申し上げます。

初診受付一覧はホームページよりご確認ください。

<http://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>



重粒子線医学センター 外来診療体制の変更について

当院重粒子線医学センターの初診受付は、4 月から下記のとおりとなりました。

【4 月から】 月曜日・火曜日・水曜日 初診受付

医療機関からの完全予約制となっておりますので、受診の際は患者支援センター（Tel: 027-220-7733 Fax: 027-220-7777）を経由して予約の上、来院ください。

日時

平成24年**6月9日(土)**
13:30~16:30(開場 13:00)

会場

群馬会館
(群馬県庁前)
前橋市大手町2-1-1



市民講座

教育講演

座長：群馬大学医学部附属病院患者支援センター長 **酒巻 哲夫**

「もっと知ろう！乳がんのこと」

群馬大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科 **堀口 淳氏**

特別講演

座長：群馬大学保健学研究科 看護学教授 **神田 清子**

「キレイになって外に出よう！」 — 私を取り戻す治療中の元気メイク —

美容ジャーナリスト・乳がん体験者・NPO法人キャンサーリボンス理事・
NPO法人キャンサーネットジャパン認定乳がん体験者コーディネーター **山崎 多賀子氏**

交流茶話会

どなたでもご自由に参加いただけます

申込み **不要** (当日、直接会場へお越しください)

費用 **無料** **駐車場** 群馬県庁駐車場をご利用ください

お問い合わせ先 **TEL：027-220-7854** 群馬大学病院医療サービス課

**申込
不要**



主催 **群馬県がん診療連携拠点病院連絡協議会／群馬県**

指定 日本医師会生涯教育講座3単位 (カリキュラムコード5, 6, 10, 11, 12)

共催 国立大学法人群馬大学医学部附属病院／群馬県がん患者団体連絡協議会／財団法人群馬県健康づくり財団／
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

後援 群馬県医師会／群馬県看護協会／群馬がん看護研究会／群馬県薬剤師会／群馬県病院薬剤師会／上毛新聞社／群馬テレビ